

札幌建設協会が高校生向けに現場見学会

## ものづくりの魅力感じる

### 鉄筋や左官の作業を体験

一般社団法人札幌建設協会(岩田圭剛会長)は十五日、高校生を対象とした現場見学会を開催した。前



年に続いて専門工事業者と共同で行ったもので、札幌工業高校建築科の二年生七十五人が参加した。技能者の指導を受けながら鉄筋や左官の工事を体験。生徒たちは、真剣なまなざしで作

業に取り組んでいた。建設業への若年者入職対策の一環として行っている現場見学会は、昨年からとびや左官等の専門工事業者と共同で開催。好評だったことから、ことしも札幌市手稲区内の民間現場で同様の見学会を企画した。岩田地崎建設協が請け負っている高齢者用共同住宅新築工事の現場に札幌工業高校の生徒を招いた。

現場では、札幌建設協の村井悟専務理事があいさつし、若年者入職対策に取り組んでいると説明。建築の仕事为例に、「こびや鉄筋の専門工事業者がいて、施工を管理する会社がある。チームワークで成り立っていることを肌で感じてほしい」と、建設業の魅力を語った。

また、岩田地崎建設の敦智時代建築部長は「建設業は、歴史に残る仕事という自信がある。皆さんはきょう、その業界に一步、足を踏み込んだ。これから二

歩、三歩と足を踏み入れてほしい」と将来の担い手にエールを送った。

見学会では鉄筋や左官、とびの専門工事業者が担当して、生徒の実技指導を行った。鉄筋の体験学習では、工具となまし鉄線(針金)を使って、鉄筋を結束する作業に挑戦。技能者の指導のもと、生徒は何度も失敗しながら、真剣に作業に取り組んでいた。写真

引率した建築科長の池原智宏教諭は「実習時間として二年生に現場見学会を年一回行っている。進路の二

アミスがなくし、就職後の定着率を上げる大切な時間」と述べたほか、建設企業で女性採用が増えてきたため、女子生徒への進路指導が進めやすくなったと話

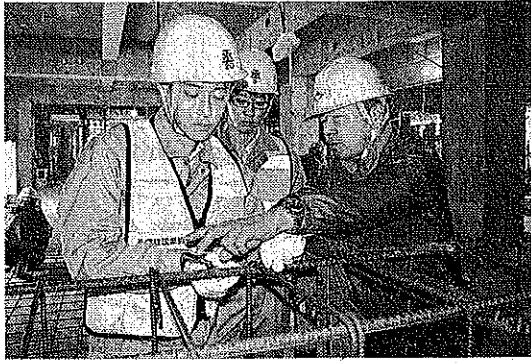
していた。同校の建築科二年生には、女子生徒十九人が在籍。今回の現場見学会にはこのうち、十七人が参加した。

# 入職促進へMS現場を

## 札幌建協 札幌工高生招き現場見学会

札幌建設業協会(岩田圭剛会長)は15日、札幌工高建築科2年生約80人を招き、札幌市手稲区で進められているマンション新築現場の見学会を開いた。建設業界の人材不足が叫ばれる中、高校生に現場を知ってもらい、入職促進につなげることを狙い。終了後、技能者を目指したいと話す生徒もいた。

北海道建設作工技建協同組合、北海道鉄筋業協同組合、北海道左官業組合連合会、北海道型砕工



事業協同組合と札幌建協が連携し、各持ち場で業務内容の実演や体験を交えながら説明したほか、やりがいなどをPRした。

会場となったのは、リョーワが発注した高齢者5グループに分かれ、各専門工場のコーナを巡回。丁寧な指導を受け、笑顔をみせながらも真剣に鉄筋結束作業に取り鉄筋の結束作業を丁寧に教わる生徒たち

向け賃貸マンション・ライフコート第7弾の現場。建設地は手稲区西宮の沢4条2丁目2の4、規模はRC造、7階、延べ5990平方メートル、80戸で、16年2月末の完成を目指し、岩田地崎建設が施工している。

はじめに札幌建協の村井悟専務理事が「現場は専門工事業などのチームワークで成り立っていることを肌で感じてほしい。明日の授業や将来の選択に役立てて」とあいさつ。同校卒業生で2013年度に岩田地崎建設へ入社した供野龍哉さんは「つらいことがあっても目標を持って取り組んでほしい」と後輩にエールを送った。

生徒たちは5グループに分かれ、各専門工場のコーナを巡回。丁寧な指導を受け、笑顔をみせながらも真剣に鉄筋結束作業に取り鉄筋の結束作業を丁寧に教わる生徒たち

組む姿が見られた。卒業後は就職を希望するという中村優斗さんは「現場を見ることができて新鮮だった。左官のモルタル塗りが興味深く、技能者を目指してみたいと思った」と刺激を受けた様子だった。